

## 12月17日(日) サイエンスカーニバル 中高生の発表、子どもたちに伝わる!

市内の中学校の6校、高校4校の科学系クラブが一堂に会し、サイエンスショーやワークショップを発表するサイエンスカーニバルが開催されました。現在の形となって4年目。来館者は園児・小学生とその家族など、合わせて数百人を数え、館内は各イベントを楽しむ子どもたちで、終日賑わいました。

サイエンスショーを発表した生徒たちは、自分の言葉で堂々と語りかける姿を見せ、子どもたちを楽しませようというゆとりさえ感じられました。ワークショップでは、各校の受付に行列ができるほど大人気。材料の品切れも続出しました。

来館した子供たちは笑顔と歓声でサイエンスを味わい、発表した部員たちは

学校での活動に確かな手応えをつかみ、大きな自信を持ち帰ったことと思います。



## 熟睡プラ寝たリウム いびき席、ふとんエリアも好評

勤労感謝の日の11月23日(木・祝)に、プラネタリウムの満天の星の下でぐっすり眠っていただくというイベント、「熟睡プラ寝たリウム」を開催しました。今年是全国34館のプラネタリウムでの一斉開催となり、東海地方では、当館が唯一の開催館でした。

枕やアイマスク、ブランケットなどを持ち込まれる方も多数。投映の前に、軽くストレッチなどをして…みなさん、寝る気満々です。「いびき席」はもちろんのこと、「ふとんエリア」も意外と人気で驚きました。

満天の星に包まれて、いつもよりゆったりとした解説と心地よい音楽が熟睡タイムへと誘います。今の時期ご覧いただける星座の説明や、そこから語り継がれる神話。そして、常に私たちが目にするのでできるお月様についてのお話をしました。

「星の話も聞くこともでき、癒され、うとうとすることができて、とてもよかったです。」「いつもプラネタリウムで寝てしまうので、堂々と寝ることができる今日の企画はとてうれしかった。」など、お客さまからうれしい感想をいただきました。みなさんも、プラネタリウムにぜひリラックスしにきてくださいね。



## ☆天文ピックス☆

宵空で冬の星座が出そろう季節になりました。寒いですが、天気の良い日には、少しでも星空を見上げてみてください。冬は空気も乾き澄んでいるので、雲さえなければ星がよく見えます。街中からでも見られる1等星も多いので、冬の星空はとても楽しめます。

特に冬の星座の代表といわれる「オリオン座」は、1等星が2つ、2等星が5つもあり、特徴的な形で並んでいるので、とても見つけやすい星座です。オリオン座から他の星座を探す方法もたくさんあります。ぜひプラネタリウムの星空解説で覚えて、実際の星空で探してみてください。



また、1月はお月様の話題が2つもあります。1月2日の満月は2018年の「スーパームーン(最も地球に近づいた時の満月)」となります。そして、1月31日の満月では、「皆既月食(月が完全に地球の影に入る現象)」が起こります。つまり、1月は1ヶ月に2度も満月がある「ブルームーン」でもあるのです。ぜひ月にも注目してみてください。

## 枝下用水で生き物さがし 初の試み、全19種類発見!

12月3日(土)にワークショップ「探検!発見!枝下用水」を開催しました。これは枝下(しだれ)用水を管理する水土里(みどり)ネット豊田の協力で実現したもので、用水の分水池(ぶんすいち)の水を抜き、中に入って生き物探しと施設の見学をしました。分水池に一般の人が入るのは初の試みであったことから、この日は親子19組のほか、色々な施設から参加がありました。

活動の初めに水土里ネット豊田の方から枝下用水の役割や分水池の仕組みについて説明をいただきました。その後、いざ池の中へ!大人も子供も泥だらけになりながら生き物を探すと、数は少ないながらドジョウやオイカワ等の矢作川を代表する魚の他、外来生物であるブルーギルやウシガエルなど、全19種類がみつけられました。

枝下用水は矢作川の水を豊田市内に運んでいます。水だけではなく生き物も運ばれることで、地域の環境が作られることがわかりました。参加した方からは「身近な環境をもっと調べてみたくなった」「近くに住んでいるけど用水の役割を初めて知った」という感想をたくさんいただきました。

